

事務事業名	文化祭参画事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連				
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課		
施策名	24	生涯学習の推進		所属係	生涯学習班	課長名	野本立一		
基本事業名	78	学習やスポーツへの参加機会の提供		担当者名	宮本拓摩	電話番号 (内線)	248-5555 1503		
予算科目	会計 01	款 10	項 05	目 06	事業 文化振興事業	法令根拠			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 7 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 文化協会主催による文化祭の啓発チラシの作成、配布及び展示会場の設営を行う。 (業務の内容) 選定した業者に業務委託し、会場設営を委託する。 (予算の内訳) 委託料(文化祭会場設営委託)、印刷製本費(文化祭啓発チラシ)						総投入量	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A)	0
							人件費	正規職員従事人数	
								延べ業務時間	
								人件費計 (B)	0
							トータルコスト(A)+(B)		0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

文化フェスティバルの開催支援(啓発チラシの作成及び配布・展示会場の設営)

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

文化協会(会員)及び市民

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

会員の活動成果の場とし、市民に文化芸術活動に興味をもってもらう。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

学習やスポーツに参加する機会がある。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称 単位

ア 開催数

回

イ

ウ

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称 単位

ア 市民

人

イ

ウ

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称 単位

ア 来場した人数

人

イ 成果を発表した団体数

人

ウ

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称 単位

ア 学習・スポーツに親しむ機会があると思う市民の割合

人

イ

ウ

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	年度 (最終目標)
投入量	事業費							
	財源内訳							
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,650	1,400	2,000	1,800	1,800	1,800
	事業費計 (A)	千円	1,650	1,400	2,000	1,800	1,800	1,800
	人件費							
	正規職員従事人数	人	4	4	6	6	6	6
活動指標	延べ業務時間	時間	500	500	500	500	500	500
	人件費計 (B)	千円	1,250	1,250	1,985	1,985	1,985	1,985
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,900	2,650	3,985	3,785	3,785	3,785
	活動指標	ア 回	1	1	1	1	1	1
		イ						
		ウ						
	対象指標	ア 人			53303	53909	54518	55124
		イ						
		ウ						
	成果指標	ア 人			2000	2000	2000	2000
上位成果指標		イ 人			91	150	150	150
		ウ						
	上位成果指標	ア 人						
		イ 人						
		ウ						

合志市

事務事業名	文化祭参画事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	---------	-----	----------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

旧合志町では、文化協会の活動及び共催事業としチラシの作成・会場設営を行い、生涯学習行事も連携して行っていた。(旧西合志町では、会場設営協力のみ)合併後、旧合志町の手法を継続する方法をとった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

文化祭開催方法の旧両町手法が異なっていることから、まだ旧西合志協会員に戸惑いが見られる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

開催に関しては、全体の賛同は得ているものの、交通弱者(車を持ってない人)からは、送迎車(展示物の運搬)の確保が難しいなどの意見が出ている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 会員の活動成果の場を設け、市民が文化芸術活動に興味をもつことにより、文化活動成果の向上と活動の活性化に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 文化団体の活動の成果・発表の場が提供され、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 市民が気軽に集え、学ぶことができることから適切と考える。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 合併後、両町の考えが錯綜しているが、協会運営が軌道に乗れば、成果の向上は得られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 活動の場が縮小あるいは失われ、文化活動を通じた市民相互の融和と交流が損なわれる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似するものが無く、他目的な行事と組み合わせると、規模が増大し、本来の目的が達成し難い。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 旧合志町協会を対象としていたため、今後旧西合志町を含めて行くと逆に費用は増大する。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 文化協会の組織再編等により、自立的活動が確立すれば、業務時間の軽減は可能となる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 文化協会への加入は、自由に出ることや、全市民を対象に講じている。

合志市

事務事業名	文化祭参画事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	---------	-----	----------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

成果の向上性について、合併後、両町の考えが錯綜しているが、協会運営が軌道に乗れば、成果の向上は得られる。効率性について、文化協会の自立的活動が確立すれば、業務時間の軽減は可能となる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

旧西合志町のコミュニティ運営事業とは切り離し、文化祭を一本化させる。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	○
	維持	○	○	×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

文化協会の健全経営化を実現すべく、支部制の廃止と自主活動団体への移行。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項